

横浜銀行が、「〈はまぎん〉ビジネスコネク」で『XBA』『XCS』を利用し、データ蓄積を開始
～企業の入出金データからより早く正確に経営状況を捉え、より利便性の高いサービスの提供を実現～

株式会社マネーフォワード(本社:東京都港区、代表取締役社長CEO: 辻庸介、以下「当社」)は、株式会社横浜銀行(本社:神奈川県横浜市、代表取締役頭取: 大矢恭好、以下「横浜銀行」)が提供する法人・個人事業主向け無料会員制ポータルサイト「〈はまぎん〉ビジネスコネク」に、『マネーフォワードfintechプラットフォーム』の機能である、『アカウントアグリゲーション基盤(X Business Aggregation、以下『XBA』)とデータベース(X Cloud Storage、以下『XCS』)の提供を開始し、横浜銀行は、法人顧客の資産・入出金データの蓄積を開始しました。

なお、横浜銀行は、[2021年3月に『マネーフォワードFintechプラットフォーム』の導入を発表しました。](#)

横浜銀行が、「〈はまぎん〉ビジネスコネク」で『XBA』『XCS』を利用し、データ蓄積を開始



企業の入出金データからより早く正確に経営状況を捉え、
より利便性の高いサービスの提供を実現

『マネーフォワードFintechプラットフォーム』は、金融関連サービスの資産データや入出金データを蓄積・分析し、Fintech企業をはじめとするパートナー企業の提供サービスと連携できる共通基盤です。

これまで「〈はまぎん〉ビジネスコネク」では、自行の入出金データのみの取得を行っていましたが、『XBA』を利用することで、自行以外の複数金融機関の入出金データを取得し^{※1}一元管理できるようになります。また、これまでのインターネットバンキングでは、過去3ヶ月分の入出金データを保管しておりましたが、『XCS』の利用により、過去10年分のデータ保管が可能になります^{※2}。

「〈はまぎん〉ビジネスコネク」を利用する法人顧客は、複数のインターネットバンキングにアクセスしたり通帳記帳をする手間なく、「〈はまぎん〉ビジネスコネク」の画面上で複数銀行の預金口座を一元管理できます。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社マネーフォワード 広報担当: 石田 E-mail: pr@moneyforward.co.jp

横浜銀行は、『XBA』と『XCS』を利用して蓄積した口座の入出金データをもとに、より早く正確に企業の実態を把握することで、適時適切な融資の提案など経営のサポートを行うことが可能になります。

今後、横浜銀行は、企業の入出金データを活用し、オフラインとオンラインの垣根を越えたより利便性の高い金融サービスの提供を目指します。

※1 自行以外の金融機関の資産・入出金データは、「<はまぎん>ビジネスコネク」を利用する法人顧客の同意に基づいて当社が取得し、横浜銀行に提供します。

※2 過去10年分のデータ保管が可能になる機能は、2022年3月以降に提供開始を予定しております。

■金融機関向け『マネーフォワードFintechプラットフォーム』について

『マネーフォワードFintechプラットフォーム』は、金融関連サービスの資産データや入出金データを蓄積・分析し、Fintech企業をはじめとするパートナー企業の提供サービスと連携できる共通基盤です。金融機関は、本プラットフォームを活用することで、顧客ニーズにあったサービスを迅速に提供することができます。

本プラットフォームは、アマゾンウェブサービス(以下「AWS」)が提供するストレージや分析などができるサービス(マネージドサービス)^{※3}を活用して構築しています。AWS上で構築することで、効率的なAPIの管理や運用が可能になるほか、金融機関とセキュアなデータ連携が可能^{※4}です。

プレスリリース：<https://corp.moneyforward.com/news/release/service/20210322-mf-press3/>

※3 主なサービスは、AWS Lambda, Amazon S3, Amazon Aurora, Amazon Athena, AWS Glue, Amazon QuickSight, Amazon SageMakerです。

※4「AWS PrivateLink」により、パブリックインターネットに公開することなく、VPC、AWSのサービス、およびオンプレミスネットワーク間のプライベート接続を提供します。

■背景

横浜銀行は、「従来の銀行を超える新しい金融企業」を目指し、顧客に対する業務付加価値の向上や顧客体験(CX)を革新すべく、デジタル技術の活用を積極的に進めています。その一環で、法人・個人事業主向け無料会員制ポータルサイト「<はまぎん>ビジネスコネク」におけるFintech連携を強化することを目的に、『マネーフォワードfintechプラットフォーム』の導入を2021年3月に発表しました。

横浜銀行は、企業が保有する複数金融機関の入出金データを分析^{※1}、企業の実態をより早く正確に把握し、オンラインとオフラインの垣根を越えたより利便性の高いサービスの提供を実現すべく、この度、『マネーフォワードfintechプラットフォーム』上の機能である『XBA』と『XCS』の利用を開始しました。

※1 自行以外の金融機関の資産・入出金データは、「<はまぎん>ビジネスコネク」を利用する法人顧客の同意に基づいて当社が取得し、横浜銀行に提供します。

■株式会社横浜銀行について

名称 : 株式会社横浜銀行

所在地 : 神奈川県 横浜市 西区みなとみらい3丁目1番1号

代表者 : 代表取締役頭取 大矢恭好

設立 : 1920年12月

事業内容: 普通銀行業務

URL : <https://www.boy.co.jp/>

主要サービス:

預金・貸出・為替・投資型商品の販売業務、

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社マネーフォワード 広報担当: 石田 E-mail: pr@moneyforward.co.jp

金融商品仲介、相続関連業務、投資銀行業務 など

■株式会社マネーフォワードについて

名称 :株式会社マネーフォワード

所在地 :東京都港区芝浦 3-1-21 msb Tamachi 田町ステーションタワーS 21F

代表者 :代表取締役社長CEO 辻庸介

設立 :2012年5月

事業内容:PFMサービスおよびクラウドサービスの開発・提供

URL :<https://corp.moneyforward.com/>

主要サービス:

お金の見える化サービス『マネーフォワード ME』 <https://moneyforward.com/>

バックオフィスSaaS『マネーフォワード クラウド』 <https://biz.moneyforward.com/>

* 記載されている会社名および商品・製品・サービス名(ロゴマーク等を含む)は、各社の商標または各権利者の登録商標です。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社マネーフォワード 広報担当:石田 E-mail:pr@moneyforward.co.jp